

しゃかいふくし ほうじん いわて かいこうほう し
社会福祉法人 岩手ひだまり会広報誌

ひだまり



しょくいん たの とき
職員との楽しいひととき

え さ し さ く ら き
ひだまり江刺桜木

2020.11
Vol.19

いちがつより児童発達支援を始動!!

六歳児からの療育を行って数年経ったところ、指導員の間で、ひだまりに通うお子様にもう少し早くいい成長をうながせないだろうか、と話し合っていました。

そして私たちの出した回答は、やはり早期の療育支援でした。その時から、様々な「療育の柱（方法）」を探して、様々な研究機関、他法人を訪問し研究した結果、「LITALICO（リタリコ）」さんと出会いました。こは、乳幼児から成人に至るまで一貫した応用行動分析を軸に、個別療育を全国的に展開している会社です。

子どもたちのために、数年に渡りLITALICOジュニアの教室等を訪問し検討を重ねた末に、今年度から提携を組みました。まずは北上地区で乳幼児からの療育支援に取り組み、来年度からは奥州市へと児童発達支援事業として放課後等デイサービスと併設して取り組むこととなりました。どうぞ皆さんご利用願います。

理事長 高橋 洋子

取り組みの様子



自立支援訓練：買い物（選ぶ、買う、金銭理解）



粗大運動：けんけんぱ（輪の通りに足を置く、バランス）



工作、身近なものの活用、シャボン玉の吹き口をハンドメイドする



ひだまり北上にこつと所長 後藤 幸子

「できる」から「自信」へ

今年2月から9月にわたって計6回の研修に、北上中央から2名、北上にこつとからは3名の職員がリーダーとして参加しました。ABA（応用行動分析学）の理論から実践まで学び、職員がお子さんを視る視点に変化がありました。経験や勘だけでなく、支援に根拠を持つことができます。そして、個別と集団を組み合わせながら、「できる」を積み重ねることで自信につなげていきたいと思ひます。



ひだまり北上中央所長 千葉 昭好

「支援の要点を整理する」

困りごとを抱える利用者・家族の支援についての確たる根拠を示すことができない現状です。LITALICOの学びは①「利用者の将来像に対する支援が描けているか？」②支援の指針・方法が「言語化（共通化）されているか？」③「共通の見方・共通の枠組み・共通の言葉で理解しやすく整理されているか？」など支援に必要な要点がすっきり整理されていると思ひます。

サポートを受けた事業所 所長より

早期個別支援の必要性とは？



菅佐原 洋 先生

今回スタートされる児童発達支援事業(注一)は、人間形成上も重要な乳幼児期の障害のあるお子さまを支援することなどが目的とされています。ここで支援する「発達」というのはとても繊細な仕組みに支えられています。例えば、お子さまに「あれ〇〇だよ」と名前を伝える関わりは日常でよくありますが、一歳前後のお子さまでもその機会を通じて名前と対象物を結び付けられることが分かっています。ただし、相手と同じものに注意が向けられる「仕組みが前提になるのです。そのため注意の共有に困難のあるお子さまでは、仕組みがうまく働かず、学びの機会にならない「学びそこね」が起きてしまうのです。

早期に療育を行う目的には、早い時期からうまく働いていく部分を支援することで、日常での学びの機会を活かしやすくなり、暮らしやすさに繋げるという部分があります。だからこそ急激に発達する乳幼児期に、お子さまの特性や学びのペースに合わせた個別支援を行うことが重要なのです。

しかし、そのような支援を提供できる場は十分に足りていないのが現状です。そんな中、個別療育に取り組まれることで地域のお子さまに大きな選択肢が加わるとしています。ひだまり会様のミッションは「障がいのある無しに関わらず、子供からお年寄りまで、安心して過ごせる居場所(地域)づくり」とのことですが、「学びそこね」ではなく「できた」が増えていくことで、「安心して過ごせる居場所」も増えていくのではないかと思えます。

注一 障害のある未就学の子どものための通所支援施設です。

ご指導いただいたリタリコジュニアの先生方



LITALICO発達ナビ 保育士
坂辺ひかる 先生

児童保育指導員、支援級介助員を経て2012年LITALICOへ入社。教室勤務後はトレーナーとして支援を行いながら複数教室の指導員育成に携わり、のちに教室長となる。LITALICO発達ナビ異動後は、全国の複数事業所を展開している法人様を担当し、サービス活用サポートから研修実施まで幅広く行っている。



公認心理師/臨床心理士/臨床発達心理士
LITALICOジュニア チーフスーパーバイザー
菅佐原 洋 先生

発達心理学や応用行動分析学を専門とし、発達障害のある子どもへの直接支援、幼・小・中学校教職員への特別支援アドバイザー、教育センター等での研修などに20年以上携わっている。また大学教員として、臨床心理士育成などに関わっており、現職においても支援に関わる指導員への研修やスーパーバイザーの育成の統括を担当しておられます。



Q. 事業所の特徴とはなんですか？
A. 利用者は明峰支援学校へ通う子ども達が多いです。年齢層は十歳から十七歳までで男性児童が多く通っています。ひだまりで最初にできた放課後等デイサービスです。そのためか、保護者との交流が非常に活発です。



佐々木幾久美 理事長 療育経験12年目のベテラン児童指導員です。

社会福祉法人岩手ひだまり会の放課後等デイもお陰様で十五年目を迎えました。事業所は共通した療育支援はもちろん行っていますが、それぞれの個性もあります。ここでは、利用している保護者さんからのリクエストもあり、それぞれの事業所をこれから紹介していきます。

Q. どんな事業所を目指していますか？
A. この五月に異動してきたばかりで、まだまだわからない事がたくさんで悪戦苦闘の毎日です。そんな新米所長ですが、利用している子ども達、保護者の方々はもちろんですが、私たち職員、みんなにとって「風通しのよい」事業所でありたいと思います。



アニマルセラピー (動物療法)

Q. 事業所で力を入れている活動や取り組みを教えてください。
A. 将来に向けて出来る事が増えるように「個別支援目標」を立て、その目標に沿った活動として「個別の活動」を週二回取り組んでいます。色んな事が他の人よりちょっとだけ時間がかかる子ども達ですが、何回も取り組む事で少しずつ出来るようになります。それと、私自身、動物が大好きで、子ども達と動物のふれあいの機会を積極的に設けています。



療育・保育共にベテランの
菊池 美紀 所長 (保育士)



Q 事業所の特徴とはなんですか？

A 他の事業所とは違い、一階は児童が通う放課後等デイサービス、二階は大人の方の就労支援事業を行っている「多機能型施設」と呼ばれる事業所です。職員は、私菊池(保育士)と児童発達支援管理責任者一名、他保育士一名、児童指導員四名で構成されています。

Q 事業所で力を入れている活動や取り組みを教えてください。

A ずっと「音遊び(音楽療法)」に力を入れています。法人では月一回音楽療法士による音楽療法を受けていますが、岩谷堂では独自の音遊びを取り入れ今年で三年目になります。クリスマスには奥州市在住のミュージシャン「ツジヤマガクさん」と音遊びの練習の成果の発表会を行っています。

Q どんな事業所を目指していますか？

A 利用される方やご家族、そして働く我々も共に楽しく過ごせる事業所を目指しています。



保育士の演奏に合わせた音遊び



ツジヤマガクさんとの音楽発表会



『陽だまり』のような
ホッとできる
マスクを♡

江刺岩谷堂 就労課

就労課では、マスク製作第二弾として、障がいを持つ方や支援者に向けたマスクを製作中です。
特徴は、肌に優しい素材と刺激の少ない柔らかな色合いを選んでいます。

現在、各事業所職員にモニタリングを依頼し、着心地はもちろんです。着用時の利用者さんの反応を見ていただき、よりよい製品を作るための検証を行っています。
就労課製作スタッフが一つ一つ心を込めて縫製しています。ぜひ、手に取ってお試してください。



マスクに関するお問い合わせは
ひだまり江刺岩谷堂
☎0197-47-3711

～*商品紹介*～

※ふんわりマスク ¥400 ◇素材：Wガーゼ

※おがにつくマスク

* Aタイプ ¥500 ◇素材：表地Wガーゼ・裏地オーガニックコットン

* Bタイプ ¥600 ◇素材：オーガニックコットン ◇カラー：オーガニック

* Cタイプ ¥800 ◇素材：マスク地、糸、ゴムすべてにオーガニックコットンを使用
◇カラー：オーガニック

◎サイズは全種共通：SS・S・M・L・LL

◎カラー（ふんわり・おがにつくAタイプ共通）：5色（ミント・クリーム・ブルー・ピンク・ホワイト）

保護者だより



みずさわよこまち
ひだまり水沢横町
ははとよだ
母 豊田さおりさん
りようしゃ よしと
利用者 純土さん

小学四年生から、放デイと日中一時のお世話になり七年度になります。四月より盛岡峰南高等支援学校に入学。週末と学校休業日に利用し、午前授業の帰省時には、水沢駅から横町迄徒歩での通学体験もしています。

利用者も職員も更に楽しく過ごせるような体験を見つけては横町に提供しています。文化祭の餅まきやミニトマト栽培は、楽しくてお得、季節を感じられ、食育にもなつたと思います。横町では利用者と家族の
① 現在＝小さな目標
② すぐ先＝大きな目標
③ 未来＝将来の目標を見つめた支援や活動を提供してくれます。躓きや失敗もその子の財産。純土にも沢山ありました。職員の皆さんの声掛けや見守りで乗り越え、自信に繋がったように感じます。残り二年、兄貴役頑張ります。よろしくお願ひします。

の伸び伸びと楽しみながら仕事をしています！



じしゃく さき つつ さお かん ぶんべつ ゆみ
磁石を先に付けた釣り竿で缶を分別する祐美さん

おいかわ
及川 祐美さん (二十四歳)
平成二十八年に卒業した祐美さんは、現在(社福)ひまわり会 はつびいウイングで、月曜日から金曜日までの毎日、元気に働いています。祐美さんには、この施設環境が合っており、自由に伸び伸びと過ごすことが出来ています。現在、チャレンジ班に所属し主に廃品回収の仕事に従事しながら、包装のフィルムを取ったり、スチール缶とアルミ缶を分別等の作業を行っています。仕事以外でも

支援時間に、足湯を楽しんだり、パソコンを使ってユーチューブの動画を観たり、音楽を鑑賞しながら体を動かしたり、散歩に出かけたりと、施設での暮らしが毎日の楽しみになっているようです。積み立てをして、三年に一度の旅行では東京やデイズニールランドにも行きました。

お給料をもらった後、お母さんと自動販売機で飲み物を買う事や、買い物をする事がとても楽しみで、お給料は、紙幣でもらうより、硬貨でもらう方が好みのようです。

○当時の職員より

現第二桜木所長 高梨 恵

祐美さんは、様々な経験を積む事で沢山の事が出来るようになりました。手先が器用で塗り絵は綺麗に隙間なく塗り、折り紙は角を揃えて上手に折っていたことが印象的です。現在、はつびいウイングに毎日休まず通われています。

所長のつぎやき



ひだまり胆沢

所長 但木 美穂

新生活様式がなじんできた私の行動①空をよく見るようになりまし。運良く彩雲を見たり、事業所からは、ピンク色の夕焼けを「きれいだね」って、子供たちと一緒に眺めることもできました。②花を育てる楽しみが増えました。ひだまり卒業生に勧められて購入した金魚草（下の背景）が咲いた時には、とても嬉しかったです。③神社やお

寺にお参りすることが増えました。私の人生、神仏頼み？無事に過ごせたことに、お礼にも行きます。蓮や水蓮も見に行き、同僚に「仏の道にでもすすむのですか？」と言われ、大爆笑でした。④マスク生活のためか、化粧をすることを忘れたような気がします。素顔のまま、子供たちや職員と携わり『あれよ？あれあれ』と言葉が出てこなくて「あれって何？」と、子供たちから突っ込みが入ります。答えるまでに時間がかかってしまうのは何故なのか、またまた大笑いです。純粋な子供たちの成長過程に携わらせて頂いている幸せ、保護者様と笑いながら会話が出来る幸せ、個性豊かな仲間たちと一緒に悩み、感動出来る幸せを日々感じています。家に帰れば母として子供の連絡帳を確認し、内容によっては保護者様の立場がしみじみと分かることもあります。

自然豊かな胆沢の大地で『自分らしくのびのびと』個性を活かし、大きな声で笑い合い、小さな成長を喜び、感動をみくんなで分け合っています。いす。

周りの皆さんに支えられている感謝の気持ちを忘れず、どんな時も、笑って過ごしたいです。

寄贈品

- 左記の方よりご寄贈頂きました。
- 令和二年四月二十日 渡邊直香様より
 - ハローキティ調理台 お買い物カート
 - 令和二年六月二十七日 三上美智子様より
 - アルコール除菌シート百枚入り三個
 - 令和二年七月十三日 北上市社会福祉協議会（黒沢尻工業高校ラグビー部）様より
 - ハンドソープ 本体一本、詰め替え二本
 - 令和二年八月七日 伊藤和宣様より 絵本百五十冊
 - 令和二年八月十二日 高橋結（黒沢尻北高校一年）様より
 - 布マスク一箱 アルコールジェル
 - 除菌ウェットシート
 - 令和二年八月三十一日 北上ライオンズクラブ様より
 - J2観戦優待券十枚
- ありがとうございました。

編集後記

今回の広報は、児童発達支援事業の告知と事業所紹介と盛り沢山の内容になっております。朝晩の冷え込みが一段と増えていますので、健康にご留意して過ごしませう。 (千葉)